

青森県立保健大学附属図書館だより

ラポール

Rapport

創刊号 2003.10

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点

目 次

図書館報の創刊によせて…………… 1	資料紹介「国家試験問題関連資料」…………… 5
図書館報の発刊にあたって…………… 2	図書館蔵書検索方法（OPAC）…………… 6
新入生からのメッセージ…………… 3	図書館ガイダンスのご案内・開館時間のお知らせ… 8

図書館報の創刊によせて



学 長 新 道 幸 恵

近年の社会の変化は激しく、社会の諸側面に大きな影響をもたらしています。図書館も例外なく、変化の渦に巻き込まれて、サービスの内容や方法が多様になってきました。

本学の図書館も、開学6ヶ月後に一般公開を開始して以来、閲覧時間の延長、蔵書数の増加や和洋雑誌の種類増加、インターネットによる書物の購入や文献検索などのサービスの拡大を図ってきました。

この度の、この図書館報の創刊は、新たなサービスの一つといえます。図書館を利用者の皆様の身近なものへと誘う役目を果たしたり、利用者間や利用者と図書館司書との交流の場になることなどが期待されます。今後、利用者の皆様のアイデアによって、版を重ねる毎に新しさを加え、親しみのある図書館への道しるべとしての図書館報に発展することが望まれます。

私は、大学の図書館は、その利用に精通することが大学生活に馴染み、適応する第一歩であるとの思いを持っています。大学や大学院、海外の大学での研修生活において、勉学への楽しさは、図書館への親しみを感じる時期に比例していたことを思い出します。学生生活の初めに、先ず、図書館の利用方法を知り、その室内の雰囲気になじみ、その中に居場所を見つけ、落ち着いて、本をあさり、本を読む時を過ごすことが出来るようになる頃には、学生生活への緊張感はほぐれていたものです。利用者の中には同じような経験をされた方は少なくないことでしょう。

例年より早く、八甲田山に初冠雪のニュースが届きました。いよいよ灯火親しむ季節の到来です。本学の学部や大学院の学生や教職員の皆様はもとより、県民の方々にも、読書を楽しみ、書物を通して交流を広げる場として、本学の図書館を活用いただけますように、祈念しています。

図書館報の発刊にあたって



附属図書館長 鈴木 孝夫

大学図書館の使命は、大学における教育研究・学習等の諸活動に対して、各種の情報関連支援サービスを提供することにあります。その使命達成のために、図書館は利用者とのコミュニケーションの拡大とサービスの充実発展を図る方法を確立することが極めて大切と思われます。そのために必須な図書館の施設・機能・活動等に関する広報活動の一環として、利用者に対して、定期的に図書館情報を提供すべき館報「ラポール」創刊号が、幸いにも全学のご理解・ご協力のもとに発行されることとなりました。

大学の附属図書館は、国公立であれ私立であれ、その大学の学部・学科に関連する分野の既存の知、現在形成されつつある知を大量に集積して利用に供し、公開するという役目を担っています。そのため、わが県立保健大学も含め世界中の各大学は、自分たちの附属図書館の資料や利便性について、かなり詳しい情報を提供しています。また、大学附属図書館は蔵書数の多さを誇るだけでは不十分で、多数の学生、教職員や地域の方々が図書・資料を借り出し、その場で学習できるスペースと環境が整備されている必要があります。そのため本学でも、大学全体の限られた予算のなかから、全学が協力して図書館への予算枠を少しでも大きくし、図書館の利便性を拡充しております。

ところで、今全国の大学はその活性化や教育研究水準の向上に努め、その社会的責任を果たすことを強く求められ、自己点検・評価の下に改革に取り組んでいます。開学5年目の本学とて例外ではなく、その流れの渦中にあり、更なる発展を目指しております。本学附属図書館も県立保健大学を構成する基盤的施設の一環として、全学・他の部局と歩調を合わせながら、その固有な使命・役割を自覚し、図書館自体の抱える現状と課題を冷

静に把握し、一層の改善に努めることが求められています。

さらに、少子化時代を迎えて国公立大学も競争時代に入ったと言われていています。教育研究のみならず建物いわゆるアメニティなどの完備も大学進学者にとっては選択肢の一つになると思われます。その中で図書館と図書館が持つ機能性は大学が持つサービス性の中でも最も重要な要素の一つであります。各大学の図書館が、どのようにして学生の知的好奇心を刺激し、学内外の研究者への最先端情報の収集力と提供機能を備え、さらに社会的には知的財産の継承と拡大を図るかが問われています。

予算がない、歴史が浅いという「言い訳」の陰に隠れて、図書館自体の「智慧がない」と言われないよう利用者皆様の熱い支持を願って発行を続けていきたいと思ひます。



～新入生からのメッセージ～

図書館について

看護学科1年 細川美鈴



入学してから、半年が経とうとしています。緊張と不安の連続だった大学生活にもようやく慣れてきました。大学では、自分の興味ある分野を存分に学ぶことができ、とても勉強が楽しく有意義な時間を過ごしています。加えて、大学の設備も整っているし、先生方も様々なタイプの人がいて授業も充実していて、最高の環境にあると思います。そんな中、私たち学生にとって図書館は重要な施設であり、欠かせないものだと実感しています。入学してから今まで、様々なレポートや課題に取り組んできましたが、何をするにも図書館の本や資料を参考に行ってきました。自分でも気づかないうちに、図書館での勉強が習慣となりました。普段、何気なく利用している図書館ですが、とてもお世話になっていることを改めて感じています。私が図書館を利用するきっかけとなったのは、毎週あるゼミの課題をこなすためでした。高校生の時も図書館を利用することはありましたが、この大学の図書館は三階まであり、図書の種類もすごく充実しています。図書館全体のスペースも広く、余裕のある環境で勉強することができるので、とても気に入っています。まだ入学してから約半年しか経っていませんが、これからの長い大学生活の中で何度も利用すると思います。私たちにとって身近な図書館ですが、これからも生徒にとってだけでなく、誰が利用しても居心地の良い空間であって欲しいと思います。

図書館を利用して

社会福祉学科1年 菊地毅



私は本が大好きです。毎日一時間は読書しますし、調べものをするときには必ず本から、という風に決めております。どうしても調べられないときだけに、インターネットを活用します。インターネットのほうが情報量が多く、早く調べられるから、本よりいいと思っている人も多いでしょう。確かにインターネットは便利ではあります。それにも拘らず、私が本にこだわるわけは、本当に知りたい情報だけを調べることができるからです。私はインターネットを利用するとき、情報量が多すぎて、どれが本当に正しいことなのか、判断に詰まることがあります。だから私はなるべく本で調べるようにしています。

私が初めて図書館を利用したのは、六月の下旬、ちょうど大学にも慣れてきたころです。リハビリテーション論という授業の中で、一グループ三人に分かれ、提示された症例について機能障害、活動の制限、参加の制約を考え、理学療法士、または社会福祉士として何ができるのかその役割を発表する、という課題がありまして、その課題を調べ、グループのほかの人と話し合うために、図書館を利用しました。リハビリテーションについて何の知識もなかったのですが、すぐに疾病の中身とその治療方法などがすぐに見つかり、あまり時間がかからずに済みました。さすが保健大学だけあって、保健に関する本がたくさんあると感心しました。発表内容をどんなものにするかという話し合いも、落ち着いた雰囲気の中でできたのでとてもいいものができました。それ以来頻繁に利用しております。図書館を利用して、なんとなくですが、普通の小説が少ないように感じました。本は心の栄養といいます。図書館には保健に関する本ばかりでなく、大衆小説などの在庫も増やしてもらいたいと思いました。

知識と情報の宝庫

理学療法学科1年 長 浜 悌 子



私が大学の付属図書館を利用するのは2回目になります。以前在籍していた某国立大学の図書館は、伝統ある古い校舎だったので雰囲気が暗く、時代の変化もさることながら図書館利用者の中でもどちらかというリピーター向けで、敷居が高かった印象があります。書籍の専門性が非常に高く、1・2年生の時は難しすぎて利用回数はとても少なかったです。図書館の職員の方も近寄りたいたい雰囲気だった事を覚えています。いよいよ卒業論文を本格的に仕上げるという時になってようやく図書館に頻りに足を運んだくらいで、普段のレポートは専ら研究室が所有している文献を利用していました。どちらかという図書館は私にとって遠い存在だった様な気がします。

大学卒業後、会社に勤務していた時は公共の図書館に行く機会もなく、本を購入していましたが書籍代を考慮すると必然的に読書冊数はかなり減っていました。スクーバダイビングの仕事をしていたので読む本と言えば、ダイビング関連の書籍や雑誌のみで「知識の栄養バランス」が偏っていたと言えます。私の父は読書が大好きで、出張の際には必ず本を携えて仕事に出かけています。仕事のための本と頭を休めるための本をバランス良く両方読んでいるようです。「身体の栄養は食事から、頭の栄養は読書から」という父の言葉がいつも心にあり、ぜひ父を見習いたいと常日頃考えていました。

今年の4月から再び学生生活を送る機会に恵まれ、入学早々図書館独自のオリエンテーションがあることに驚きました。職員の方から親切に利用方法、特に図書検索の方法を解りやすく具体的に教えていただいた事により、早速図書館を利用し

ようと思いました。約6万書を有し、その中でも保健・医療・福祉分野が充実している上に、ビデオ等の資料が揃っているためレポートなどで「困ったときは図書館へ」と考えるようになりました。講義の合間や放課後など時間がある時に真っ先に思い浮かぶ行き先は図書館です。

最近ようやく図書館全体の書籍の配置が解ってきて、医療分野以外にも元々好きな自然科学分野の本に目を通す機会も多くなってきました。ここ青森県立保健大学付属図書館には他の分野の主要な書籍も充実していると思います。書籍棚を探すときのドキドキ感は独特なものがあります。夢中になってついつい時間を忘れそうになる時もあります。いつも医療系の勉強をしていると頭の中も堅苦しくなってしまうので、他分野の書籍は私にとっていい頭のリフレッシュになっています。「知識の栄養バランス」も自分なりに考えていきたいですね。これからも様々な知識と情報を図書館から得ていきたいと思っています。

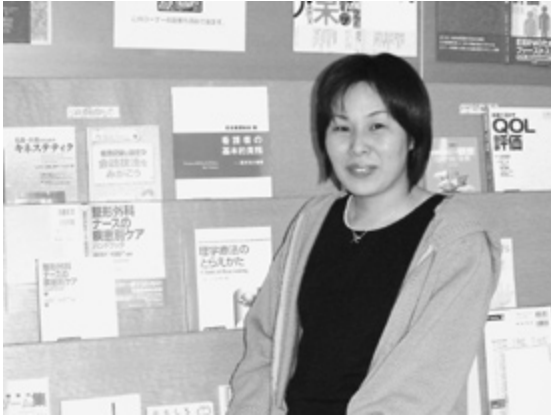
金曜日などの週末に授業のレポートが出された時は、日曜日でも開館していたらなあ。という時が何回かありましたが、もう少し計画的に利用して余裕をもってレポートを仕上げる事ができれば問題ないと思います。さらに、本屋さんに行く機会があまり無いと今世間で話題の書籍が把握できなくなります。月に1回でもいいので図書館内にベストセラーが掲示してあり、購入希望のアンケートをとっていただければ、他の学生も書籍に興味を持ち、利用機会がさらに増えるのではないのでしょうか。

数多くのメディアやインターネットの情報が氾濫する中で、自分にとって必要かつ正確な情報を得るためにも図書館は不可欠な存在だと思います。今後授業数が増えてきて空き時間が少なくなるかも知れませんが、専門知識の宝庫として、貴重な情報収集源として、図書館を有効利用していきたいと思っています。

図書館を利用して

健康科学研究科 看護学生生活支援領域

杉本由美



図書館の職員の方々は、親切な方々ばかりで大変お世話になっています。パソコンの使い方や文献検索のやり方が分からない時などは何度もしつこく聞いているのですが、嫌な顔をされたことは一度もありません。また、以前に図書館のパソコンからメールの送信は可能ですかと尋ねたことがありました。その時は機能がついていなかったのが出来なかったのですが、2週間後にはメールの送信が可能になっていました。職員の方々の要望に対する素早い対応にとっても感心しました。

大学院生は図書館を夜中の12時まで利用することができます。この制度は、他の図書館にはない利点だと思います。昼間に時間がない時でも、

仕事帰りなどにじっくり文献を探ることができるからです。また、パソコンも大変使いやすく、用途に応じて文献を検索することができます。これもすごいことだと思います。私が大学生の時には、こんなに詳しく検索することができませんでした。時代とともに、機械はどんどん進歩していくのだなあと感心しています。

普段、私は臨床で看護師をしているのですが、本をじっくり読む暇などありません。しかし、図書館にはたくさんの本や新しい雑誌があります。レポート作成や論文の文献検索の時には図書館にこもりっきりになるのですが、本をじっくり読むと今まで見えていなかったことが鮮明に見えるようになり、とても感動した気持ちになります。大学生の時には、図書館に対してあまり関心を抱かなかったのですが、一度社会にでてから再び来てみると図書館はとても良い所だと思うようになりました。

最後になりましたが、私は図書館に行くの良いことばかりなので、とても楽しい気持ちになります。いつも質問してばかりでご迷惑をおかけしますが、今後ともよろしくお願ひします。

—資料紹介—

【国家試験問題関連資料】

本学へ入学し、保健医療福祉の専門職を目指す学生のみなさんにとっては、免れることのない「国家試験」が1月から3月にかけて実施されます。この国家試験に合格するために、一人一人問題集に取り組んでいくことと思います。

図書館では、看護師、保健師、助産師、理学療法士、社会福祉士の各国家試験の過去の問題が掲載されている問題集をはじめ、国試対策用の図書を購入しています。

平成15年10月から、図書館2階の壁面書架に「国試関連資料コーナー」を設置しました。図書館蔵書検索(OPAC)で検索すると、所在が「国試関連資料コーナー」と表示されます。問題集は禁帯出ですので、図書館内で利用して下さい。問題集以外の国家試験関連資料は貸出可能です。

どんどん利用して、国家試験対策に役立てて下さい。

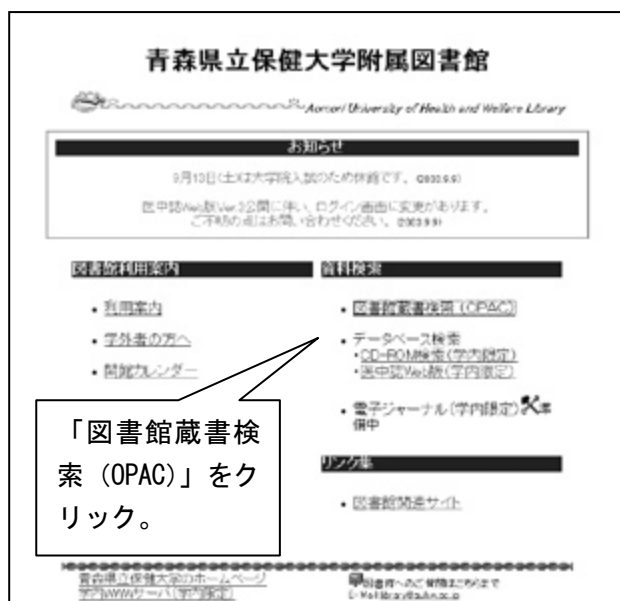
図書館蔵書検索方法（OPAC）

◆OPACで検索できる資料は？

図書館蔵書検索（OPAC）では、青森県立保健大学附属図書館が所蔵している図書・雑誌・視聴覚資料を書名や著者名などで検索することができます。

◆図書を検索してみましょう！

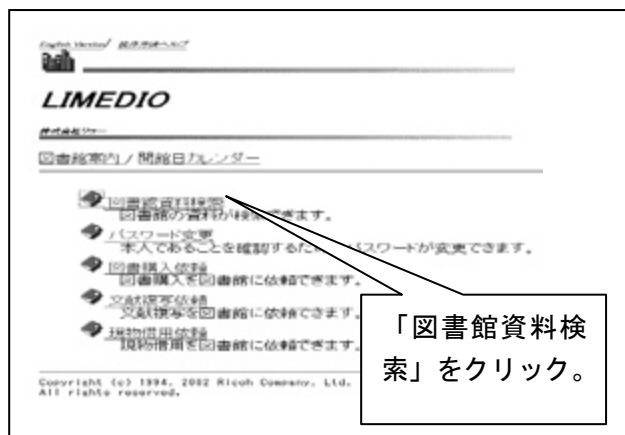
①図書館のホームページ画面を開きます。



「図書館蔵書検索 (OPAC)」をクリック。

②次のメニュー画面が表示されます。

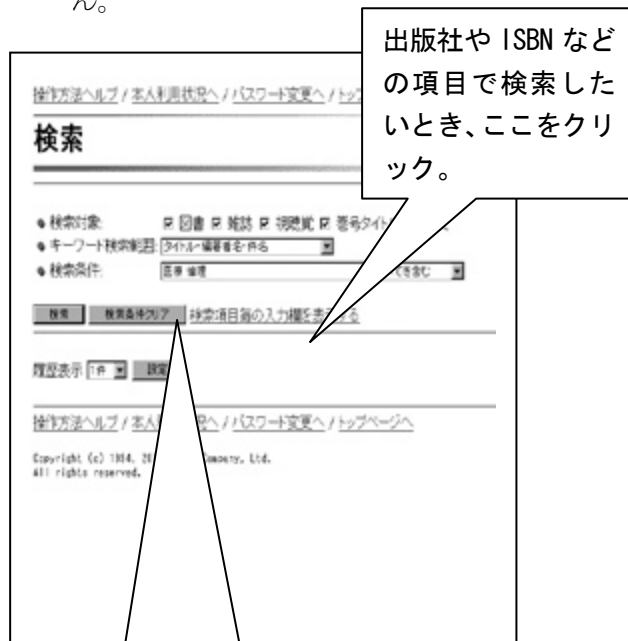
ここでは検索のほか、希望図書の依頼や文献複写依頼のメニューも選択できます。



「図書館資料検索」をクリック。

③「検索条件」に検索したいキーワードを入力します。

- ・複数のキーワードを入力するときはスペースで区切って入力します。
- ・書名・誌名・著者名から検索できますが、雑誌の論文タイトルからは検索できません。



出版社や ISBN などの項目で検索したいとき、ここをクリック。

「検索条件」に検索したいキーワードを入力。ここでは「医療」と「倫理」の両方を含む図書を探したいので『医療 倫理』と、キーワードの間にスペースを入力。

◆検索結果◆

検索結果一覧

検索条件
KEYWORD1=医療 AND 倫理

結果件数
図書 151件 / 雑誌 0件 / 視聴覚 0件 / 番号タイトル 1件 / 論文 0件

ブックマーク追加

図書 1-100番目

- 21世紀につながる生命と法と倫理: 生命の始期をめぐる諸問題 中谷種子著 有斐閣 1990
- 病人リハビリテーションの実際について: 医療・福祉・倫理 大野隆之著 北条志保 1992
- 病人が医療の主人公: 患者の権利と責任の所在 大野隆之著 大月書店 1992
- 医療倫理入門-倫理学 医学書院 1992
- 病める者へ: 生命の尊厳から始まる 山口新一編 小学館 1992
- 医療の倫理: 倫理学と医療倫理 安部春樹編著 世界書院 1962のちのち出版 1992
- 医療の倫理に学ぶ医療従事者のマインド: 医療従事者のマインド・マナー・マナー・マナー 世界書院 2000
- 医療の倫理: 倫理学と医療倫理 安部春樹編著 世界書院 1962のちのち出版 1992
- 遺体の取り扱いの倫理 高橋誠一編著 九州大学出版 1999 熊本大学生命倫理研究会編纂

ブックマーク追加

表示形式指定
[10] 件数の [5件] ごとで [表示]

全表示形式指定
書誌 [印刷] 番号 [印刷] 所在 [あり] [設定] [全表示]

見たい資料の資料名をクリックすると、所在・請求記号などが表示されます。

請求記号をまとめて表示する場合は「全表示」をクリック。

- ④検索結果の一覧が表示されます。
資料の詳細な情報と配架場所を表示する時には、見たい資料の資料名をクリックします。
- ・配架場所を一覧で見たいときは、画面一番下の「全表示」をクリックします。
 - ・資料の詳細な情報画面では、貸出中の場合、「状況」欄に貸出中の表示と返却予定日が表示されます。

検索結果一覧(全表示)

検索条件
KEYWORD1=医療 AND 倫理

結果件数
元の表示へ / 図書 151件 / 雑誌 0件 / 視聴覚 0件 / 番号タイトル 1件 / 論文 0件

ブックマーク追加

図書 1-151(151冊)

番号	題名	所在	請求記号	資料ID	備考
1	21世紀につながる生命と法と倫理: 生命の始期をめぐる諸問題 中谷種子著 有斐閣 1990	開架	490.15 N73 1	00064245	

所在、請求記号、資料IDがわかると、書架で資料を探し出すことができます。

所在	配架場所	所在	配架場所	所在	配架場所
開架	2階・3階の書架	書庫	3階移動書架	研究室	各研究室 (貸出できません)
参考	1階参考書架	AV/CAI	1階AV/CAIコーナー		
指定	1階指定書架	雑誌	2階雑誌架	国試…	2階の壁面書架

図書館ガイダンスのご案内

☆ガイダンスは組み合わせ自由で随時実施しております。

お申し込みの際は希望日時と参加人数を図書館カウンターまでお知らせください。

ガイダンス名 (所要時間)	対象	ガイダンス名 (所要時間)	対象
①図書館ツアー (15分)	図書館を使いこなそうとしている方	⑤雑誌記事索引 (30分)	社会福祉系など幅広い分野の論文を探したい方
②蔵書検索 (15分)	レポート作成などに図書館資料を役立てたい方	⑥PubMed (30分)	医学系の外国語論文を探したい方
③医中誌 入門編 (30分)	医学系の日本語論文を探したい方	⑦CINAHL (30分)	看護系の英語論文を探したい方
④医中誌 上級編 (15分)	医中誌の基本的な知識を習得している方	⑧文献複写申込方法 (15分)	学外の文献を取り寄せたい方

《開館時間のお知らせ》

無印は9:00～21:00、■は9:00～16:45、■は休館です。

2003年10月							2003年11月							2003年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1		1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
							30													

2004年1月							2004年2月							2004年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	12	13
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	14	15	16	17	18	19	20
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	21	22	23	24	25	26	27
25	26	27	28	29	30	31	29							28	29	30	31			

◇図書館報の名称は、公募により寄せられた候補の中から理学療法学科教員桜木康広氏の「ラポール」が採用されました。

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 創刊号 平成15年10月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/libr/index.html>